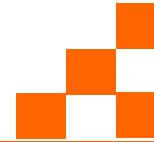




【報告】地震・津波避難訓練（含BCP）



作成日時：2025年10月30日

作成部署：総務

実施内容 1



■実施日時

令和7年10月30日（木） 14:00～15:20

■対象

本体特養、ケアハウス、デイサービス、華の郷南陽、華の結 看多機/住宅型

■参加人数

本体施設 11名、華の郷 5名、看多機/住宅型 4名、居宅 1名、本部 11名
合計32名

■訓練目的：大規模地震発生時の初期対応（シェイクアウト訓練）

- ・津波警報発令時における、情報伝達、役割分担、および避難誘導の手順を確認する。
- ・安全かつ迅速に施設上階へ垂直避難する技術と連携を習熟する。
- ・避難後の安否確認と報告体制を確立する。



実施内容 2



1.発生日時（想定）

2025年10月30日（木） 14時00分

2.災害想定

名古屋市沖で南海トラフ地震（震度6強）が発生。

伊勢湾・三河湾に大津波警報発表、施設への津波到達が予測

3.被害想定

激しい揺れによる建物・設備の被害、利用者の負傷

ライフライン（電気・水道・ガス・通信）の停止

施設周辺の浸水（想定浸水深 3～5m）

垂直避難訓練の様子
(華の結 住宅型)



4.避難場所

原則：施設内での垂直避難

第1避難場所：本体特養・華の郷・華の結 の 2階以上

第2避難場所：本体特養・華の郷の 3階以上（浸水深が想定より深い場合）

例外：西福田小学校（建物が倒壊する危険性が極めて高い場合）

実施内容 3



5.状況確認

各施設（隊長）からの自衛消防隊長へ避難状況報告の確認

6. B C P講話

B C P講話を実施（於：本体6階屋上、講師：統括施設長）

参加者：18名（利用者1名様含む）

「自然災害発生時における業務継続計画」を使用しての講和。



7.備蓄品の確認

総務にて本体、華の郷の災害備蓄品のチェック（訓練完了後）